

不登校についての経験（保護者用）

不登校の時期：                     小3～小4                    

不登校の期間： 1年3ヶ月

- 1 不登校になったきっかけを教えてください。  
息子はADHDです。  
息子の特性が、学校（公教育）のルールや決まりに合わなかったから。
  
- 2 学校に行かないときは、子供はどのように過ごしていましたか。  
平日、私が仕事の日には家で、息子は一人で留守番するか、時々は祖父母の家に預けていました。また、仕事に連れて行くこともありました。  
休日は、なるべくプールやキャンプに連れて行くようにしていました。  
家庭教師の方に来ていただくこともありました。  
スマイルゼミで少しずつ学習をしていました。
  
- 3 その時の気持ちや考えていたことを教えてください。  
ADHDである息子の居場所を探していました。  
特別支援学級でも、もちろん学校のルールはあります。先生の経験や知識、考え方も様々です。学校の方針や、地域のサポート体制も様々です。その中でどう一日を過ごせば良いのか日々悩んでいました。
  
- 4 子供に対し、どのように関わったり、声掛けをしたりしていたか教えてください。  
なるべく自分のことは自分でできるようにサポートをしました。  
寝る時間だけは守るようにしていました。  
声掛けはなるべく否定的にならないように気をつけました。
  
- 5 学校に行かなくなった当初から今に至るまで、子供や保護者の変化として感じたことを教えてください。  
学校に行かない期間は、息子が自分と向き合うとても大事な期間だったと思います。これからどうしていきたいのか、まだわからなくても話し合うこともできました。  
学校に通っている期間は、息子は毎日イライラしていましたし、話し合う余裕もありませんでした。学校では、課題や行事に参加出来なかったり、気持ちが向かない時に声を掛けられたりすることで、荒れてしまうことも日々でした。  
その度に学校から電話があり迎えに行くと教室の隅で泣いていたり、『死にたい』と言っていたり、廊下で先生方に押さえつけられていることも多々ありました。（もちろん暴れてしまう息子を抑える為にその時は仕方ない行為だった事は理解しています）  
小5の春に福祉のサポートが手厚い地域の小学校（特別支援学級）に転校をしました。その後は荒れることもありながら、先生が向き合ってください、言葉で伝えることや、イライラする前に休憩を挟むという方法を息子と一緒に練習してくださいました。登校しぶりも多々ありましたが、ほぼ毎日かようなことが起き、とても成長した一年でした。

その後は小5の2月に家庭の都合で転居することとなり、フリースクールに通い始めました。フリースクールは嫌がることなく通えています。

- 6 子供にしてよかったこと、やらなければよかったことを教えてください。  
よかったことは、学校に行かなくてよいという選択肢を与えたことです  
学校に行かない1年間は今思えば、自分と向き合う大事な期間でした。  
やらなければよかったことは、(その時期に)無理に学校に行かせることと、行けない息子を否定してしまっていたことです。
  
- 7 不安を感じたとき、どのようなことをしていたか、教えてください。  
息子はゲームや動画に夢中になっていました。  
自己否定をしていた頃は、怖い動画や闇の世界のような動画を見るが多かったのが心配でした。気持ちが前向きになってきてからは、楽しい動画を見たり、楽しいゲームをするようになりました。
  
- 8 学校に行かなかったことについて、今感じていることや考えていることを教えてください。  
学校の体制が整っていなければ、特別支援学級であっても発達障がいの特性がある子供達の居場所はありません。学校の方針や、先生の考え方や、支援教育の知識や経験などは様々です。  
もっと自由に学校が選べたり、公教育が受けられるようになって欲しいです。  
職員不足や残業問題などあらゆる問題を解決して少しでも特性のある子供たちも毎日笑顔で過ごせる環境を作って欲しいと思っています。自傷行為もありましたので、今息子が生きている事、笑顔でいることが奇跡のように思うこともあります。
  
- 9 学校に行っていない人や行かない人に対してのメッセージをお願いします。  
子供の安心できる居場所は、今住んでいる地域の小学校や中学校だけではありません。安心して過ごせる場所はきっとあります。居場所探しは本当に大変ですが、私は一歩踏み出し地域を飛び出したことで本当に信頼できる方々や先生に会うことが出来ました。もしもグレーゾーンや発達障がいをかかえている子供さんで、今の学校に合わないようであれば地域を変えてみることで大きな一歩に繋がることもあります。専門知識や心理資格のある先生と関わるができる居場所が安心かと思います。